

令和 4 年 1 0 月 2 1 日
J E S C O
北 九 州 市 環 境 局

北九州 P C B 廃棄物処理施設の環境モニタリング結果について

J E S C O 及び北九州市が実施している北九州 P C B 廃棄物処理（第 1 期・第 2 期）施設の操業に伴う周辺環境及び排出源の環境モニタリング結果は以下のとおり。

なお、第 1 期施設は平成 31 年 3 月末で操業を終了しているが、現在、解体撤去作業を行っているため、解体撤去に伴う環境モニタリングを実施している。

J E S C O 【令和 3 年度「冬季」及び令和 4 年度「春季」、「夏季」実施分（別添 1）】

（１）周辺環境

- ・大気については、P C B、ダイオキシン類、ベンゼンの全ての項目について、環境基準等に適合していた。
- ・水質（周辺海域）、地下水、土壌、底質及び生物については、P C B、ダイオキシン類ともに環境基準等に適合していた。

（２）排出源

- ・排気中の P C B、ダイオキシン類、ベンゼン、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、ばいじん、水銀の全ての項目については、協定値等に適合していた。
- ・公共下水道排水については、P C B について基準に適合していた。
- ・雨水については、P C B、ダイオキシン類について基準に適合していた。
- ・悪臭、騒音については、基準に適合していた

北九州市【令和 3 年度「冬季」及び令和 4 年度「春季」、「夏季」実施分（別添 2）】

（１）周辺環境

- ・大気については、P C B、ダイオキシン類、ベンゼンの全ての項目について、環境基準等に適合していた。
- ・水質（周辺海域）、土壌及び底質については、P C B、ダイオキシン類ともに環境基準等に適合していた。

（２）排出源

- ・排気中の P C B、ダイオキシン類、ベンゼン、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、ばいじん、水銀の全ての項目については、協定値等に適合していた。
- ・公共下水道排水については、P C B について基準に適合していた。
- ・雨水については、P C B、ダイオキシン類について基準に適合していた。

北九州PCB廃棄物処理施設の環境モニタリング結果について

令和 4 年 1 0 月 2 1 日
J E S C O

JESCOは、ポリ塩化ビフェニル(以下、PCB)廃棄物処理事業の実施により、周辺の生活環境に影響を及ぼしていないことを確認するために、環境測定を実施しています。

<周辺環境>

1. 大 気

- ① PCB 基準(0.0005mg/m³以下)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 年平均値は環境保全目標値(0.6 pg-TEQ/m³以下)に適合していた。
 ③ ベンゼン 環境保全目標値(0.012mg/m³以下)に適合していた。

調査 時期	試料採取日	PCB (mg/m ³)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	ベンゼン (mg/m ³)
2 年 度	春季 5/21-5/28 ベンゼン:5/27-5/28	0.00017 × 10 ⁻³	0.023	0.0027
	夏季 8/21-8/28 ベンゼン:8/23-8/24	0.00026 × 10 ⁻³	0.023	0.0006
	秋季 11/19-11/26 ベンゼン:11/19-11/20	0.00020 × 10 ⁻³	0.053	0.0029
	冬季 2/19-2/26 ベンゼン:2/25-2/26	0.00013 × 10 ⁻³	0.71	0.0010
	年平均値	0.00019 × 10 ⁻³	0.20	0.0018
3 年 度	春季 5/20-5/27 ベンゼン:5/24-5/25	0.00018 × 10 ⁻³	0.028	0.0016
	夏季 8/24-8/31 ベンゼン:8/25-8/26	0.00025 × 10 ⁻³	0.14	0.0014
	秋季 11/25-12/2 ベンゼン:11/25-11/26	0.00018 × 10 ⁻³	0.064	0.0018
	冬季 2/28-3/7 ベンゼン:3/3-3/4	0.00014 × 10 ⁻³	0.076	0.0061
	年平均値	0.00019 × 10 ⁻³	0.077	0.0027
4 年 度	春季 5/10-5/17 ベンゼン:5/12-5/13	0.00015 × 10 ⁻³	0.26	0.0009
	夏季 8/16-8/23 ベンゼン:8/29-8/30	0.00030 × 10 ⁻³	0.22	0.0008
基準等		0.5 × 10 ⁻³ ※1	0.6 ※2	0.012 ※2

※1 「PCBを焼却する場合における排出ガス中のPCB暫定排出許容限界について
(S47.12.22、環境庁大気保全局長通知)」で示される環境中のPCB濃度

※2 工業専用地域については、環境基準は設定されていないため、北九州PCB廃棄物処理施設
(1期)に係る生活環境影響調査の結果より、当社が環境保全目標値として定めた値

2. 水 質(周辺海域)

- ① PCB 環境基準(検出されないこと)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 環境基準(1pg-TEQ/L以下)に適合していた。

調査時期		試料採取日	PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
元年度	春季	令和元年5月23日	不検出 ^{※1}	0.066
	夏季	令和元年8月23日	不検出 ^{※1}	0.067
	秋季	令和元年11月19日	不検出 ^{※1}	0.076
	冬季	令和2年2月13日	不検出 ^{※1}	0.060
2年度	春季	令和2年5月28日	不検出 ^{※1}	0.048
	夏季	令和2年8月21日	不検出 ^{※1}	0.052
	秋季	令和2年11月19日	不検出 ^{※1}	0.062
	冬季	令和3年2月5日	不検出 ^{※1}	0.046
3年度	春季	令和3年5月20日	不検出 ^{※1}	0.10
	夏季	令和3年8月12日	不検出 ^{※1}	0.20
	秋季	令和3年11月26日	不検出 ^{※1}	0.061
	冬季	令和4年2月4日	不検出 ^{※1}	0.040
4年度	春季	令和4年5月19日	不検出 ^{※1}	0.050
	夏季	令和4年8月30日	不検出 ^{※1}	0.065
環境基準			検出されないこと	1以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

3. 地 下 水

- ① PCB 環境基準(検出されないこと)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 環境基準(1pg-TEQ/L以下)に適合していた。

調査時期	試料採取日	PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
29年度	平成30年2月5日	不検出 ^{※1}	0.057
30年度	平成31年2月13日	不検出 ^{※1}	0.053
元年度	令和2年2月20日	不検出 ^{※1}	0.054
2年度	令和3年2月15日	不検出 ^{※1}	0.043
3年度	令和4年2月10日	不検出 ^{※1}	0.046
4年度	令和5年2月実施予定		
環境基準		検出されないこと	1以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

4. 土 壌

- ① PCB 環境基準(検出されないこと)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 環境基準(1,000pg-TEQ/g・dry以下)に適合していた。

調査時期	試料採取日	PCB(溶出試験) (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・dry)
28年度	平成29年2月6日	不検出 ^{※1}	0.79
29年度	平成30年2月5日	不検出 ^{※1}	0.26
30年度	平成31年2月13日	不検出 ^{※1}	0.081
元年度	令和2年2月20日	不検出 ^{※1}	0.38
2年度	令和3年2月15日	不検出 ^{※1}	0.84
3年度	令和4年2月10日	不検出 ^{※1}	2.1
4年度	令和5年2月実施予定		
環境基準		検出されないこと	1000以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

5. 底 質

- ① PCB 溶出試験の結果は不検出であった。なお、環境基準は設定されていない。
成分試験の結果は、基準(10mg/kg・dry未満)に適合していた。
- ② ダイオキシン類 環境基準(150pg-TEQ/g・dry以下)に適合していた。

調査 時期	試料採取日	PCB(溶出試験) (mg/L)	PCB(成分試験) (mg/kg・dry)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・dry)
29年度	平成30年2月21日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※3}	6.5
30年度	平成31年2月13日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※3}	5.7
元年度	令和2年2月13日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※3}	4.2
2年度	令和3年2月5日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※3}	3.7
3年度	令和4年2月4日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※3}	10
4年度	令和5年2月実施予定			
環境基準等			10未満 ^{※2}	150以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

※2 「底質の暫定除去基準(S50.10.28、環境庁水質保全局長通知)」で定める暫定除去基準値
(10mg/kg・dry以上)に該当しないもの

※3 定量下限値は0.05mg/kg・dry

6. 生 物

生物試料名 カメノテ

- ① PCB 基準は設定されていない。
- ② ダイオキシン類 基準は設定されていない。

調査 時期	試料採取日	PCB (μg/kg・wet)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・wet)
29年度	平成30年2月5日	14	0.47
30年度	平成31年2月13日	12	0.51
元年度	令和2年2月13日	14	0.66
2年度	令和3年2月15日	15	0.60
3年度	令和4年2月10日	12	0.50
4年度	令和5年2月実施予定		

<排出源>

1. 排 気

- | | |
|-----------|--|
| ① PCB | 協定値(0.005mg/Nm ³ 以下) ^{※1} に適合していた。 |
| ② ダイオキシン類 | 協定値(0.08ng-TEQ/Nm ³ 以下) ^{※1} に適合していた。 |
| ③ ベンゼン | 協定値(45mg/Nm ³) ^{※1} に適合していた。 |
| ④ 硫黄酸化物 | 協定値(K値=0.5以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑤ 窒素酸化物 | 協定値(150ppm以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑥ 塩化水素 | 協定値(100ppm以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑦ ばいじん | 協定値(0.01g/Nm ³ 以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑧ 水銀 | 協定値(50μg/Nm ³) ^{※1} に適合していた。 |

※1 協定値(「北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る環境保全に関する協定書」の排出管理目標値)

第1期施設

モニタリングの場所は、換気設備(1G6)の1箇所である。

設備稼働停止に伴い洗浄設備(1G1、1G2)、液処理設備(1G4、1G5)、分析設備(1G7)はモニタリングを停止。

洗浄排気2(1G2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
30 年 度	平成30年5月21日	不検出 ^{※1}	
	平成30年8月10日	不検出 ^{※1}	0.000011
	平成30年11月29日	不検出 ^{※1}	
元 年 度	令和1年5月17日	不検出 ^{※1}	
	令和元年11月18日	不検出 ^{※1}	
	令和2年2月13日	不検出 ^{※1}	0.000019
2 年 度	令和2年5月28日	不検出 ^{※1}	
	令和2年9月8日	不検出 ^{※1}	0.000015
	令和2年12月9日	不検出 ^{※1}	
	令和3年2月9日	不検出 ^{※1}	0.000010
3 年 度	令和3年9月22日	不検出 ^{※1}	0.0000077
	令和3年11月9日	不検出 ^{※1}	
	令和4年1月25日	不検出 ^{※1}	0.0000080
	処理完了のため設備停止		
協定値		0.005以下	0.08以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³

換気(1G6)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月18日	0.0000057		不検出 ^{※2}
	平成30年8月8日	不検出 ^{※1}	0.000011	不検出 ^{※2}
	平成30年11月27日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	平成31年2月25日	不検出 ^{※1}	0.0000035	不検出 ^{※2}
元 年度	令和元年5月17日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和元年8月27日	不検出 ^{※1}	0.0025	不検出 ^{※2}
	令和元年11月29日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和2年2月10日	不検出 ^{※1}	0.00000096	不検出 ^{※2}
2 年度	令和2年5月14日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和2年8月21日	不検出 ^{※1}	0.000010	不検出 ^{※2}
	令和2年11月19日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和3年2月5日	不検出 ^{※1}	0.0000061	不検出 ^{※2}
3 年度	令和3年5月28日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和3年8月12日	不検出 ^{※1}	0.000064	不検出 ^{※2}
	令和3年11月9日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和4年2月8日	不検出 ^{※1}	0.0000015	不検出 ^{※2}
4 年度	令和4年5月23日	不検出 ^{※1}		不検出 ^{※2}
	令和4年8月23日	不検出 ^{※1}	0.0000034	不検出 ^{※2}
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値は0.09mg/Nm³

分析室排気(1G7)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
30 年度	平成30年5月25日	不検出 ^{※1}	
	平成30年8月10日	不検出 ^{※1}	0
	平成30年11月29日	不検出 ^{※1}	
	平成31年2月26日	不検出 ^{※1}	0.00000021
元 年度	令和元年5月14日	不検出 ^{※1}	
	令和元年8月27日	不検出 ^{※1}	0.0035
	令和元年11月8日	不検出 ^{※1}	
	令和2年2月10日	不検出 ^{※1}	0
2 年度	令和2年5月15日	不検出 ^{※1}	
	令和2年8月27日	不検出 ^{※1}	0.0000032
	令和2年11月20日	不検出 ^{※1}	
	令和3年2月5日	不検出 ^{※1}	0.0000041
3 年度	令和3年5月20日	不検出 ^{※1}	
	令和3年8月12日	不検出 ^{※1}	0.0000018
	令和3年11月16日	不検出 ^{※1}	
	令和4年2月8日	不検出 ^{※1}	0.0000014
4 年度	令和4年5月23日	不検出 ^{※1}	0.0000025
	令和4年8月23日	不検出 ^{※1}	
	令和4年9月9日	分析中(10月下旬判明予定)	
	作業完了のため設備停止		
協定値		0.005以下	0.08以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³

第2期施設

第2期施設ではVTR処理対象の小型電気機器は無くなったので、中間処理設備は令和4年3月に操業を終了。液処理設備は令和4年10月に操業を終了。

設備稼働停止に伴い中間処理設備(2G2)、液処理設備(2G4、2G5、2G6)のモニタリングを停止。

第2期施設(2G1～9)

特殊解体室排気(2G1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
30 年度	平成30年5月9日	不検出※1	
	平成30年7月24日	不検出※1	0.00000075
	平成30年10月19日	不検出※1	0.00000057
	平成31年1月16日	不検出※1	0.00000029
元 年度	令和元年5月13日	不検出※1	
	令和元年7月12日	不検出※1	0.00000021
	令和元年9月6日	不検出※1	0.000081
	令和2年1月24日	0.00000026	
2 年度	令和2年5月11日	不検出※1	
	令和2年7月8日	不検出※1	0.00000030
	令和2年9月1日	不検出※1	0.00000044
	令和3年1月14日	不検出※1	
3 年度	令和3年5月24日	不検出※1	
	令和3年7月9日	不検出※1	0.000073
	令和3年9月2日	不検出※1	0.00015
	令和4年1月26日	不検出※1	
4 年度	令和4年6月6日	不検出※1	
	令和4年8月29日	不検出※1	0.00000021
協定値		0.005以下	0.08以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³

中間処理排気(2G2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月28日	0.0000024		不検出※2
	平成30年7月9日	不検出※1	0.0010	不検出※2
	平成30年10月18日	不検出※1	0.000021	不検出※2
	平成31年1月23日	0.000018		不検出※2
元 年度	令和元年5月30日	不検出※1		不検出※2
	令和元年7月26日	0.0000021	0.000012	不検出※2
	令和元年9月13日	不検出※1	0.0000094	不検出※2
	令和2年1月8日	0.0000070		不検出※2
2 年度	令和2年5月28日	0.000018		不検出※2
	令和2年7月28日	0.000013	0.000046	不検出※2
	令和2年9月18日	0.0000022	0.000029	不検出※2
	令和3年1月19日	0.000020		不検出※2
3 年度	令和3年5月13日	0.000022		不検出※2
	令和3年7月21日	0.000014	0.000031	不検出※2
	令和3年9月15日	0.0000082	0.000023	不検出※2
	令和4年1月25日	0.000053		不検出※2
4 年度	処理完了のため設備停止			
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値は0.09mg/Nm³

真空加熱分離排気(2G3)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月10日	不検出※1	0	不検出※2
	平成30年7月13日	不検出※1	0	不検出※2
	平成30年10月18日	不検出※1	0	不検出※2
	平成31年1月11日	不検出※1	0	不検出※2
元 年度	令和元年5月30日	不検出※1	0	不検出※2
	令和元年7月18日	不検出※1	0	不検出※2
	令和元年9月8日	不検出※1	0.00000018	不検出※2
	令和2年1月29日	0.0000012	0.0000015	不検出※2
2 年度	令和2年5月14日	不検出※1	0.0000021	不検出※2
	令和2年7月7日	不検出※1	0.0000024	不検出※2
	令和2年9月3日	不検出※1	0.0000033	不検出※2
	令和3年1月15日	不検出※1	0.000044	不検出※2
3 年度	令和3年5月13日	不検出※1	0.0000013	不検出※2
	令和3年7月21日	不検出※1	0.0000038	不検出※2
	令和3年9月8日	不検出※1	0.0000013	不検出※2
	令和4年1月12日	不検出※1	0.00000093	不検出※2
4 年度	令和4年6月24日	不検出※1	0.0000012	不検出※2
	令和4年8月24日	不検出※1	0.0000015	不検出※2
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値は0.09mg/Nm³

液処理系排気1(2G4)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月22日	不検出※1	0.0000082	不検出※2
	平成30年7月19日	不検出※1	0.000011	不検出※2
	平成30年10月16日	不検出※1	0.0000077	不検出※2
	平成31年1月8日	不検出※1	0.0000020	不検出※2
元 年度	令和元年5月16日	不検出※1	0.0000044	不検出※2
	令和元年7月19日	不検出※1	0.0000044	不検出※2
	令和元年9月20日	不検出※1	0.0000034	不検出※2
	令和2年2月19日	不検出※1	0.0000015	不検出※2
2 年度	令和2年5月22日	不検出※1	0.0000068	不検出※2
	令和2年7月17日	不検出※1	0.000026	不検出※2
	令和2年9月15日	不検出※1	0.000063	不検出※2
	令和3年1月28日	不検出※1	0.0000093	不検出※2
3 年度	令和3年5月12日	不検出※1	0.000012	不検出※2
	令和3年7月15日	不検出※1	0.000024	不検出※2
	令和3年9月15日	不検出※1	0.00000084	不検出※2
	令和4年1月14日	不検出※1	0.0000042	不検出※2
4 年度	令和4年6月13日	不検出※1	0.0000039	不検出※2
	令和4年8月18日	不検出※1	0.000010	不検出※2
	処理完了のため設備停止			
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値は0.09mg/Nm³

液処理系排気2(2G5)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年 度	平成30年5月21日	不検出 ^{※1}	0.00000033	不検出 ^{※2}
	平成30年7月19日	不検出 ^{※1}	0.00000018	不検出 ^{※2}
	平成30年10月15日	不検出 ^{※1}	0.00000058	不検出 ^{※2}
	平成31年1月7日	不検出 ^{※1}	0	不検出 ^{※2}
元 年 度	令和元年5月16日	不検出 ^{※1}	0	不検出 ^{※2}
	令和元年7月19日	不検出 ^{※1}	0.00000014	不検出 ^{※2}
	令和元年9月20日	不検出 ^{※1}	0.00000021	不検出 ^{※2}
	令和2年2月19日	不検出 ^{※1}	0	不検出 ^{※2}
2 年 度	令和2年5月22日	不検出 ^{※1}	0.000019	不検出 ^{※2}
	令和2年7月17日	不検出 ^{※1}	0.0000045	不検出 ^{※2}
	令和2年9月15日	不検出 ^{※1}	0.0000029	不検出 ^{※2}
	令和3年1月28日	不検出 ^{※1}	0.0000025	不検出 ^{※2}
3 年 度	令和3年5月12日	不検出 ^{※1}	0.0000038	不検出 ^{※2}
	令和3年7月15日	不検出 ^{※1}	0.0000044	不検出 ^{※2}
	令和3年9月15日	不検出 ^{※1}	0.000010	不検出 ^{※2}
	令和4年1月14日	不検出 ^{※1}	0.00000077	不検出 ^{※2}
4 年 度	令和4年6月13日	不検出 ^{※1}	0.000089	不検出 ^{※2}
	令和4年8月18日	不検出 ^{※1}	0.0000014	不検出 ^{※2}
	処理完了のため設備停止			
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値は0.09mg/Nm³

プラズマ排気(2G7-1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	硫黄酸化物 K値	窒素酸化物 ppm	塩化水素 ppm	ばいじん g/Nm ³	水銀 (μg/Nm ³)
30 年 度	平成30年6月18日	不検出 ^{※1}	0.00000093	不検出 ^{※2}	49	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	5.4
	平成30年7月18日	不検出 ^{※1}						3.3
	平成30年10月16日	不検出 ^{※1}	0.00000014	不検出 ^{※2}	51	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	2.4
	平成31年1月25日	不検出 ^{※1}						3.0
元 年 度	令和元年6月7日	不検出 ^{※1}	0	不検出 ^{※2}	57	12	不検出 ^{※4}	1.8
	令和元年7月30日	不検出 ^{※1}						18
	令和元年9月11日	不検出 ^{※1}	0	不検出 ^{※2}	62	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	22
	令和2年1月22日	0.0000030						0.72
2 年 度	令和2年6月17日	不検出 ^{※1}	0.00022	不検出 ^{※2}	47	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	9.3
	令和2年7月30日	不検出 ^{※1}						2.1
	令和2年9月2日	不検出 ^{※1}	0.00015	不検出 ^{※2}	58	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	0.92
	令和3年1月27日	不検出 ^{※1}						8.2
3 年 度	令和3年6月7日	不検出 ^{※1}	0.0023	不検出 ^{※2}	58	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	2.2
	令和3年7月27日	不検出 ^{※1}						19
	令和3年9月7日	不検出 ^{※1}	0.0000038	不検出 ^{※2}	39	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	2.9
	令和4年1月27日	不検出 ^{※1}						2.4
4 年 度	令和4年7月28日	不検出 ^{※1}	0.0000044	不検出 ^{※2}	49	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	7.0
	令和4年9月13日	分析中(10月下旬判明予定)						
協定値		0.005以下	0.08以下	K値=0.5以下	150以下	100以下	0.01以下	50以下 ^{※5}

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値はK値=0.012

※3 定量下限値は3ppm ※4 定量下限値は0.003g/Nm³

※5 協定値を超えた場合は、10日以内に3回の再測定を実施し、定期測定及び3回の再測定の結果のうち最大及び最小の値を除く全ての測定値の平均値を得、評価を行う。

プラズマ排気(2G7-2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	硫黄酸化物 K値	窒素酸化物 ppm	塩化水素 ppm	ばいじん g/Nm ³	水銀 (μg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月30日	不検出 ^{※1}	0.00024	不検出 ^{※2}	56	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	0.5
	平成30年9月20日	不検出 ^{※1}						0.86
	平成30年12月4日	不検出 ^{※1}	0.0000029	不検出 ^{※2}	57	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	2.7
	平成31年3月6日	不検出 ^{※1}						9.1
元 年度	令和元年5月29日	不検出 ^{※1}	0	不検出 ^{※2}	51	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	13
	令和元年9月30日	不検出 ^{※1}						0.62
	令和元年12月2日	不検出 ^{※1}	0.000070	不検出 ^{※2}	52	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	9.2
	令和2年3月11日	不検出 ^{※1}						11
2 年度	令和2年5月29日	不検出 ^{※1}	0.00018	不検出 ^{※2}	54	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	0.97
	令和2年10月14日	不検出 ^{※1}						12
	令和2年12月18日	不検出 ^{※1}	0.0012	不検出 ^{※2}	67	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	4.6
	令和3年3月10日	不検出 ^{※1}						1.2
3 年度	令和3年5月14日	不検出 ^{※1}	0.0032	不検出 ^{※2}	54	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	1.8
	令和3年9月28日	不検出 ^{※1}						6.6
	令和3年12月10日	不検出 ^{※1}	0.00015	不検出 ^{※2}	45	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	4.0
	令和4年2月2日	不検出 ^{※1}						2.5
4 年度	令和4年6月20日	不検出 ^{※1}	0.000033	不検出 ^{※2}	37	不検出 ^{※3}	不検出 ^{※4}	0.19
	令和4年9月26日	分析中(10月下旬判明予定)						
協定値		0.005以下	0.08以下	K値=0.5以下	150以下	100以下	0.01以下	50以下 ^{※5}

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³ ※2 定量下限値はK値=0.012

※3 定量下限値は3ppm ※4 定量下限値は0.003g/Nm³

※5 協定値を超えた場合は、10日以内に3回の再測定を実施し、定期測定及び3回の再測定の結果のうち最大及び最小の値を除く全ての測定値の平均値を得、評価を行う。

換気(2G8)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
30 年度	平成30年5月29日	不検出 ^{※1}	
	平成30年7月24日	0.000010	0.000011
	平成30年10月19日	不検出 ^{※1}	
	平成31年1月16日	不検出 ^{※1}	0.0052
元 年度	令和元年5月13日	0.0000023	
	令和元年7月12日	0.0000031	0.0000055
	令和元年9月6日	不検出 ^{※1}	
	令和2年1月24日	0.0000042	0.0000038
2 年度	令和2年5月11日	不検出 ^{※1}	
	令和2年7月8日	0.0000026	0.0000080
	令和2年9月28日	0.0000064	
	令和3年1月14日	不検出 ^{※1}	0.000018
3 年度	令和3年5月10日	不検出 ^{※1}	
	令和3年7月12日	不検出 ^{※1}	0.0000050
	令和3年9月2日	不検出 ^{※1}	
	令和4年1月26日	不検出 ^{※1}	0.0000016
4 年度	令和4年7月15日	不検出 ^{※1}	
	令和4年9月9日	分析中(10月下旬判明予定)	
協定値		0.005以下	0.08以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³

分析室排気(2G9)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)
30 年度	平成30年5月11日	不検出 ^{※1}	
	平成30年7月24日	不検出 ^{※1}	0
	平成30年10月19日	不検出 ^{※1}	
	平成31年1月25日	不検出 ^{※1}	0.00000054
元 年度	令和元年5月27日	不検出 ^{※1}	
	令和元年7月10日	不検出 ^{※1}	0
	令和元年9月4日	不検出 ^{※1}	
	令和2年1月24日	不検出 ^{※1}	0.0000014
2 年 度	令和2年5月14日	不検出 ^{※1}	
	令和2年7月7日	不検出 ^{※1}	0.0000031
	令和2年9月28日	不検出 ^{※1}	
	令和3年1月15日	不検出 ^{※1}	0.00011
3 年 度	令和3年5月13日	不検出 ^{※1}	
	令和3年7月9日	不検出 ^{※1}	0.0000025
	令和3年9月8日	不検出 ^{※1}	
	令和4年1月13日	不検出 ^{※1}	0.00000080
4 年 度	令和4年7月15日	不検出 ^{※1}	
	令和4年9月9日	分析中(10月下旬判明予定)	
協定値		0.005以下	0.08以下

※1 定量下限値は0.000001mg/Nm³

2. 公共下水道排水水

- ① PCB 基準(0.003mg/L以下)に適合していた。

試料採取日		PCB (mg/L)
29 年度	平成29年8月25日	不検出 ^{※1}
	平成30年2月23日	不検出 ^{※1}
30 年度	平成30年8月24日	不検出 ^{※1}
	平成31年2月13日	不検出 ^{※1}
元 年度	令和元年8月23日	不検出 ^{※1}
	令和2年2月13日	不検出 ^{※1}
2 年 度	令和2年8月5日	不検出 ^{※1}
	令和3年2月9日	不検出 ^{※1}
3 年 度	令和3年8月12日	不検出 ^{※1}
	令和4年2月10日	不検出 ^{※1}
4 年 度	令和4年8月19日	不検出 ^{※1}
基準等		0.003

※1 定量下限値は0.0005mg/L

3. 雨 水

- ① PCB 基準(0.003mg/L以下)
 ② ダイオキシン類 基準(10pg-TEQ/L以下)

試料採取日		PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
29 年度	平成29年9月7日	不検出 ^{※1}	0.47
30 年度	平成30年6月11日	不検出 ^{※1}	0.16
元 年度	令和元年10月18日	不検出 ^{※1}	1.1
2 年度	令和2年6月11日	不検出 ^{※1}	0.027
3 年度	令和3年7月9日	不検出 ^{※1}	1.2
4 年度	令和4年7月19日	不検出 ^{※1}	0.84
基準等		0.003	10

※1 定量下限値は0.0005mg/L

4. 悪 臭

- ① アセトアルデヒド 基準(0.05ppm以下)に適合していた。
 ② トルエン 基準(10ppm以下)に適合していた。
 ③ キシレン 基準(1ppm以下)に適合していた。

試料採取日		地点名 (サンプリング箇所)	アセトアルデヒド (ppm)	トルエン (ppm)	キシレン (ppm)
29 年度	平成30年2月16日	風上	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
		風下	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
30 年度	平成31年2月25日	風上	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
		風下	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
元 年度	令和2年2月27日	風上	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
		風下	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
2 年度	令和3年2月25日	風上	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
		風下	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
3 年度	令和4年2月25日	風上	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
		風下	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	不検出 ^{※3}
4 年度	令和5年2月実施予定				
基準等			0.05	10	1

※1 定量下限値は0.005ppm

※2 定量下限値は1ppm

※3 定量下限値は0.1ppm

5. 騒 音

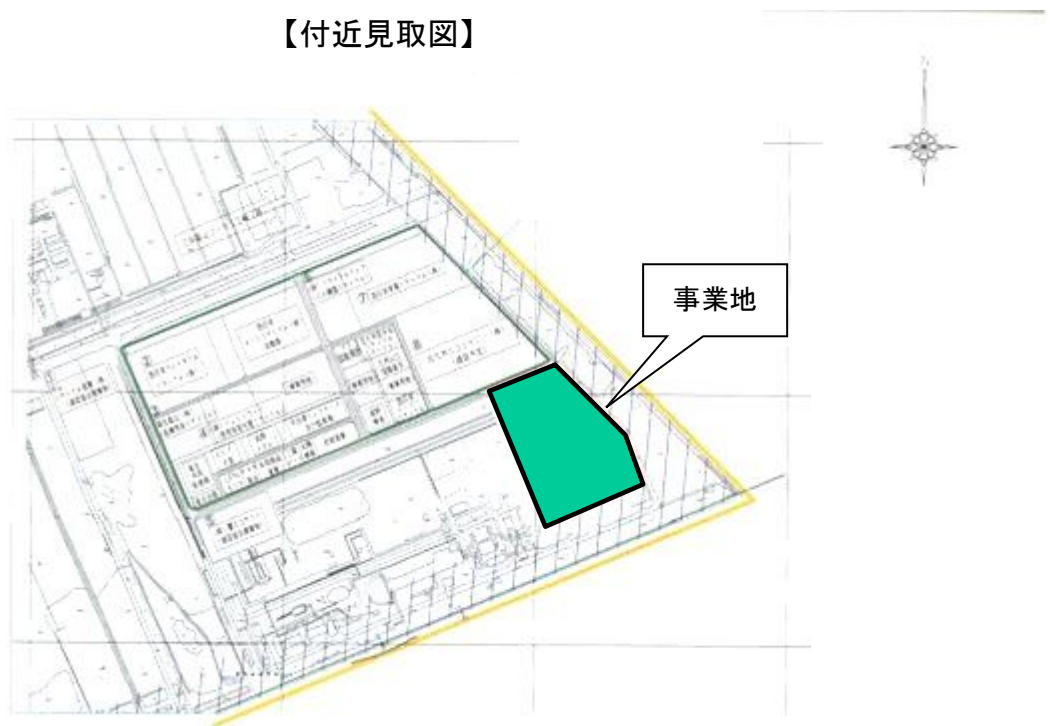
- ① 騒音レベル 基準(70dB(A)以下(夜間(65dB(A)以下)))に適合していた。

測定日		騒音レベル dB(A)
29 年度	平成30年2月20日	≤63(≤61)
30 年度	平成31年3月1日	≤65(≤62)
元 年度	令和2年2月27日	≤62(≤59)
2 年度	令和3年2月25日	≤60(≤60)
3 年度	令和4年2月25日	≤62(≤60)
4 年度	令和5年2月実施予定	
基準等		≤70(≤65)

【事業地 位置図】

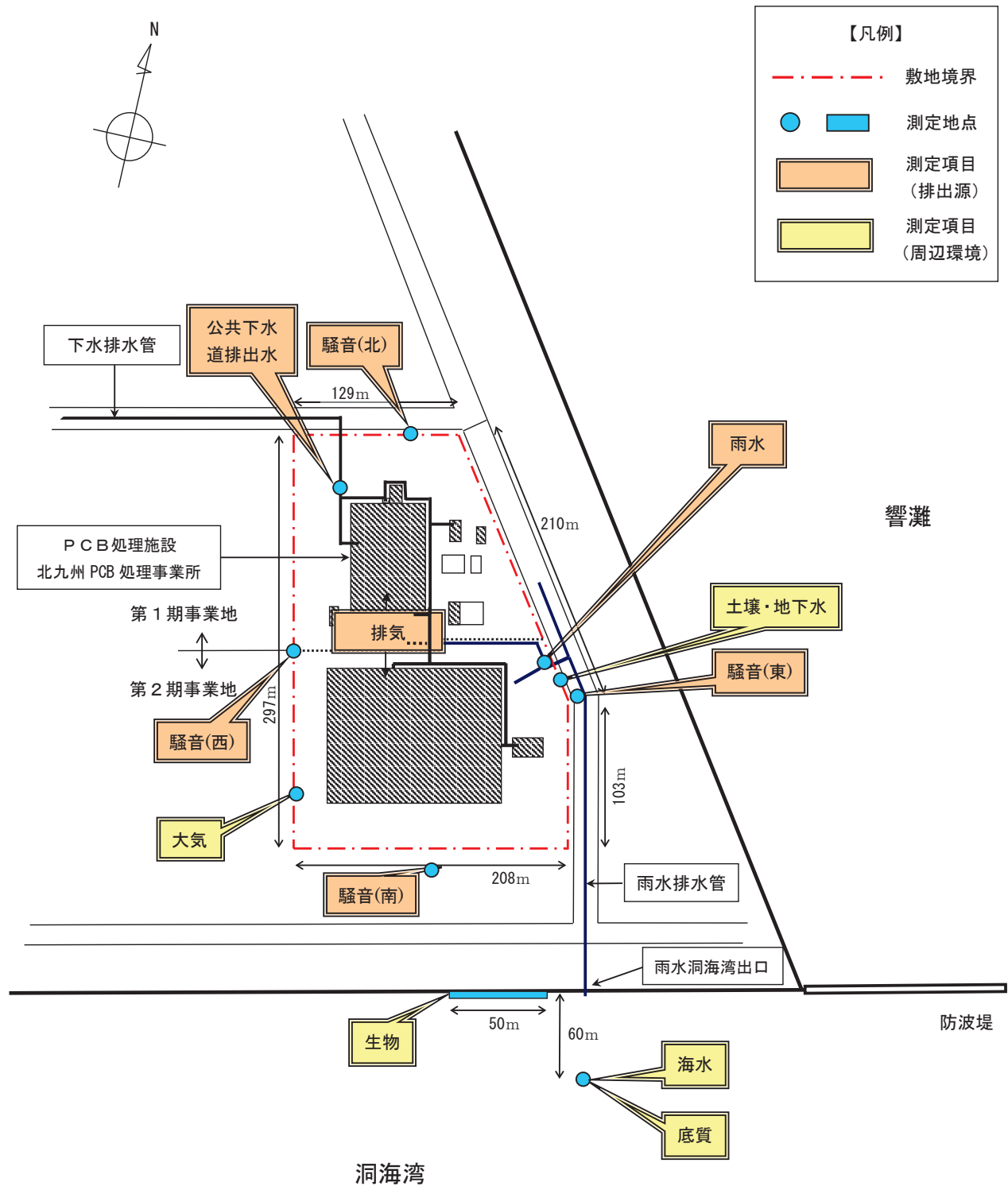


【付近見取図】



北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

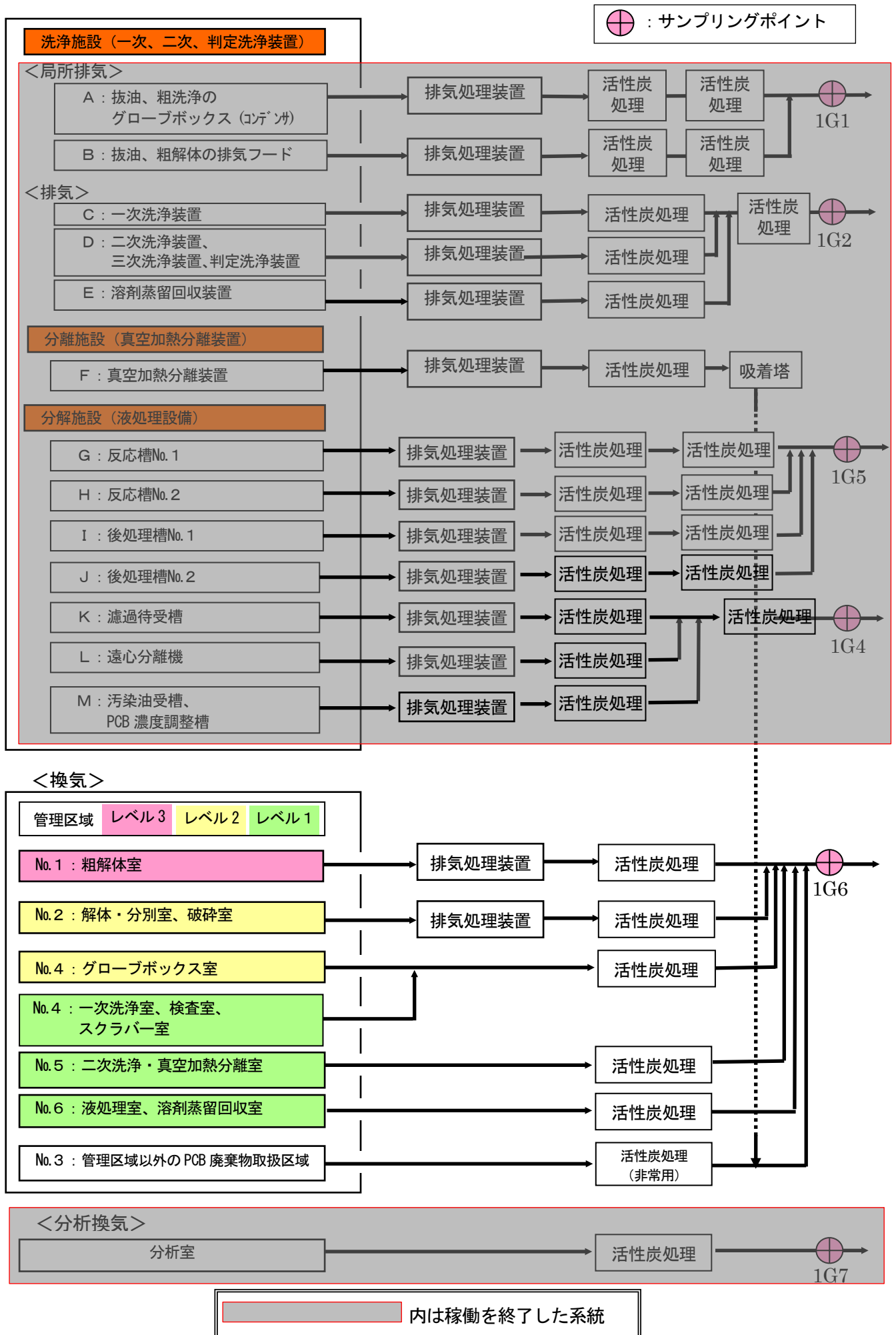
環境モニタリング調査地点図



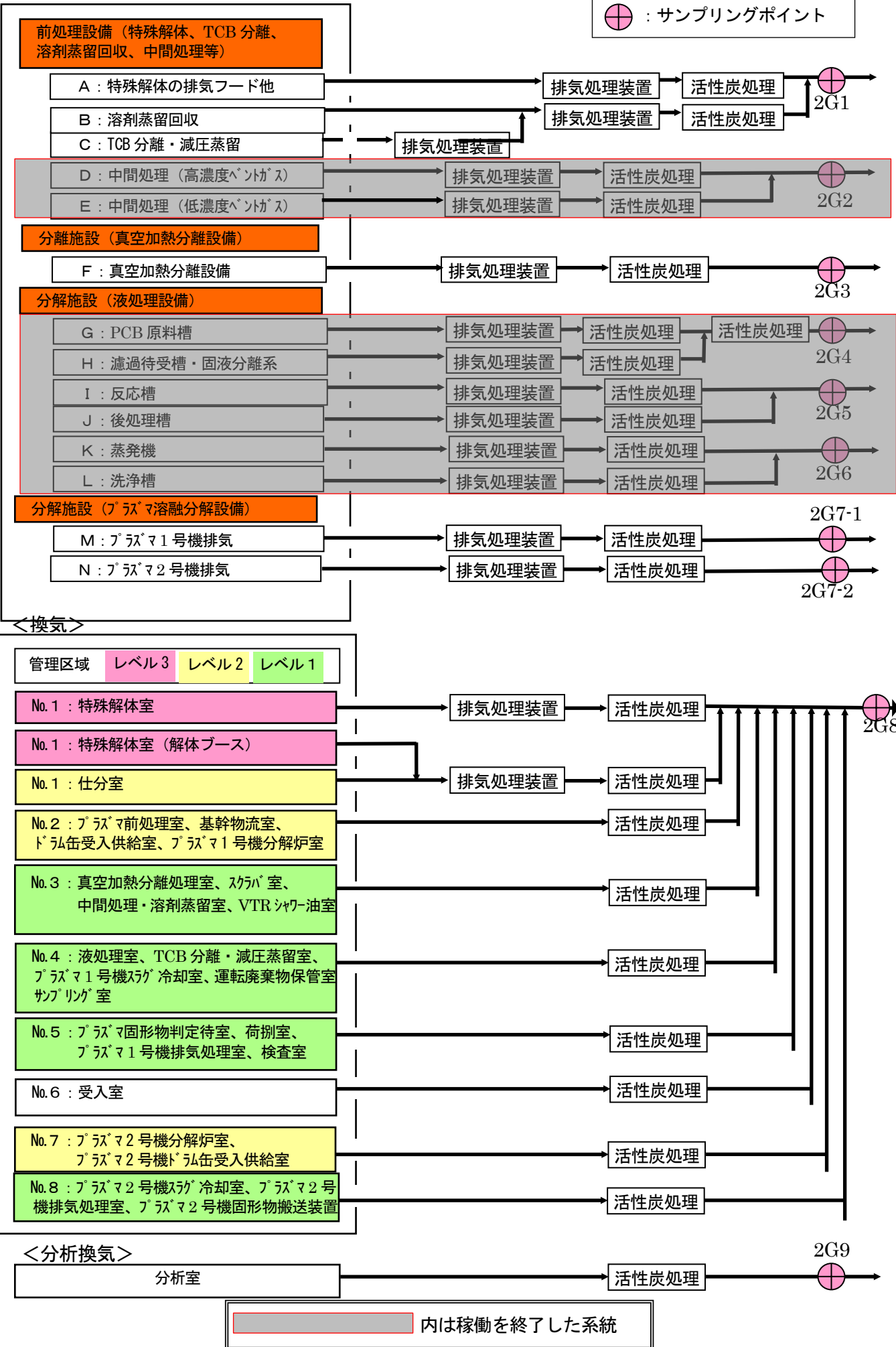
悪臭

悪臭は測定日当日の風上と風下でサンプリングします。

排気測定サンプリング箇所（1期施設）



排気測定サンプリング箇所（２期施設）



環境モニタリング計画

策定 平成15年6月16日
最終変更 令和4年10月21日
中間貯蔵・環境安全事業株式会社

<排出源（1期施設）>

要素	地点	項目	頻度	協定値
排気 ^(注1)	排気出口（1カ所） 換気出口（1カ所）	PCB	1年に4回	0.005mg/Nm ³ 以下
	換気出口（1カ所） 分析室（1カ所）	ダイオキシン類	1年に2回	0.08ng-TEQ/Nm ³ 以下
	換気出口（1カ所）	ベンゼン	1年に4回 （当面の間）	45mg/Nm ³ 以下

（注1：解体に向けて設備停止時点でモニタリング終了。

分析室は令和4年9月で作業終了。

<排出源（2期施設）>

要素	地点	項目	頻度	協定値
排気 ^(注2)	排気出口（7カ所） 換気出口（1カ所）	PCB	1年に4回	0.005mg/Nm ³ 以下
	前処理系統（1カ所） プラズマ系統（2カ所） 換気出口（1カ所） 分析室（1カ所）	ダイオキシン類	1年に2回	0.08ng-TEQ/Nm ³ 以下
	真空加熱分離系統（1カ所） 液処理系統（2カ所）		1年に4回 （当面の間）	
	真空加熱分離系統（1カ所） 液処理系統（2カ所）	ベンゼン	1年に4回 （当面の間）	45mg/Nm ³ 以下
	プラズマ熔融分解系統（2カ所）	いおう酸化物	1年に2回	K値＝0.5以下 ^(注4)
		窒素酸化物		150ppm以下 ^(注4)
		塩化水素		100ppm以下 ^(注4)
		ばいじん		0.01g/Nm ³ 以下 ^(注4)
		水銀 ^(注3) （ガス状・粒子状）	1年に4回 （当面の間）	50μg/Nm ³ 以下

（注2：処理終了に伴う設備停止時点でモニタリング終了。

中間処理設備は令和3年度で設備停止。

液処理設備は令和4年10月で設備停止。

（注3：協定値超過時の対応として結果確認後10日以内に3回の再測定を実施し、定期測定及び3回のガス状水銀濃度の値から最大値と最小値を除く全ての平均値の値で評価を行う。

（注4：1時間平均値。

<排出源（1期・2期施設共通）>

要素	地点	項目	頻度	法規制値
排水	1期（北）最終汚水槽（1カ所）	PCB	1年に2回	0.003mg/L以下
雨水	敷地出口（1カ所）	PCB	1年に1回	0.003mg/L以下
		ダイオキシン類		10pg-TEQ/L以下
悪臭	敷地境界 （風上風下2カ所）	アセトアルデヒド	1年に1回	0.05ppm以下
		トルエン		10ppm以下
		キシレン		1ppm以下
騒音	敷地境界（東西南北4カ所）	騒音レベル	1年に1回	70db(A)以下 夜間65db(A)以下

環境モニタリング計画

策定 平成15年6月16日

最終変更 令和4年10月21日

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

<周辺環境>

要素	地点	項目	頻度	環境基準値等（参考）
大気 ^(注5)	敷地南西端（1カ所）	PCB	1年に4回	0.0005mg/m ³
		ダイオキシン類		0.6pg-TEQ/m ³
		ベンゼン		0.012mg/m ³
水質 （海水）	雨水洞海湾出口沖（1カ所）	PCB	1年に4回	検出されないこと ^(注6)
		ダイオキシン類		1pg-TEQ/L
地下水	雨水敷地出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	検出されないこと ^(注6)
		ダイオキシン類		1pg-TEQ/L
土壌	雨水敷地出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	検出されないこと ^(注6)
		ダイオキシン類		1000pg-TEQ/g
底質	雨水洞海湾出口付近（1カ所）	PCB（溶出試験）	1年に1回	_____
		PCB（成分試験）		10mg/kg-dry
		ダイオキシン類		150pg-TEQ/g
生物 ^(注7)	雨水洞海湾出口付近（1カ所）	PCB	1年に1回	_____
		ダイオキシン類		_____

（注5：工業専用地域のため大気的环境基準は適用されない。

（注6：定量下限値は0.0005mg/L。

（注7：調査対象はムラサキインコガイまたはカメノテ。

北九州PCB廃棄物処理施設の環境モニタリング結果について

令和4年10月21日
北九州市環境局

北九州市は、JESCOが行う「北九州ポリ塩化ビフェニル(以下、PCB)廃棄物処理事業」による環境への影響を把握するため、環境測定を実施しています。

<周辺環境>

1. 大 気

<調査地点：若松市民会館屋上（若松区本町3-13-1）>

- ① PCB 基準(0.0005mg/m³以下)に適合していた。
② ダイオキシン類 環境基準(年間平均値0.6 pg-TEQ/m³以下)に適合していた。

調査 時期		試料採取日	PCB (mg/m ³)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)
2 年 度	春季	5/11-5/18	0.00013 × 10 ⁻³	0.014
	夏季	8/17-8/24	0.00011 × 10 ⁻³	0.020
	秋季	11/9-11/16	0.000097 × 10 ⁻³	0.023
	冬季	2/8-2/15	0.00012 × 10 ⁻³	0.014
	年平均値		0.00011 × 10 ⁻³	0.018
3 年 度	春季	5/10-5/17	0.00024 × 10 ⁻³	0.017
	夏季	8/16-8/23	0.00017 × 10 ⁻³	0.0090
	秋季	11/8-11/15	0.00015 × 10 ⁻³	0.015
	冬季	2/7-2/14	0.00013 × 10 ⁻³	0.024
	年平均値		0.00017 × 10 ⁻³	0.016
4 年 度	春季	5/9-5/16	0.000093 × 10 ⁻³	0.014
	夏季	8/22-8/29	0.00013 × 10 ⁻³	0.014
環境基準値等			0.5 × 10 ⁻³ ※1	0.6

※1 「PCBを焼却する場合における排出ガス中のPCB暫定排出許容限界について
(S47.12.22、環境庁大気保全局長通知)」で示される環境中のPCB濃度

③ ベンゼン 環境基準(年間平均値0.003mg/m³以下)に適合していた。

年度	調査時期	試料採取日	(mg/m ³)
2 年 度	4月	4/14 - 4/15	0.00042
	5月	5/19 - 5/20	0.00021
	6月	6/8 - 6/9	0.00046
	7月	7/7-7/8	0.00061
	8月	8/3-8/4	0.00054
	9月	9/15-9/16	0.0013
	10月	10/5-10/6	0.0015
	11月	11/17-11/18	0.00086
	12月	12/14-12/15	0.00042
	1月	1/19-1/20	0.00091
	2月	2/1-2/2	0.00077
	3月	3/2-3/3	0.0014
	年平均値		0.00078
3 年 度	4月	4/13-4/14	0.00039
	5月	5/18-5/19	0.00094
	6月	6/7-6/8	0.0024
	7月	7/6-7/7	0.00023
	8月	8/2-8/3	0.00069
	9月	9/14-9/15	0.0024
	10月	10/12-10/13	0.0023
	11月	11/16-11/17	0.0016
	12月	12/13-12/14	0.00056
	1月	1/17-1/18	0.00044
	2月	2/1-2/2	0.0011
	3月	3/1-3/2	0.00086
	年平均値		0.0012
4 年 度	4月	4/26-4/27	0.00035
	5月	5/17-5/18	0.00078
	6月	6/14-6/15	0.00043
	7月	7/5-7/6	0.00068
	8月	8/2-8/3	0.0029
	9月	9/6-9/7	0.0012
環境基準値			0.003以下

2. 水 質(周辺海域)

- ① PCB 何れの地点も環境基準(検出されないこと)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 何れの地点も環境基準(1pg-TEQ/L以下)に適合していた。

年度	地点名	PCB		ダイオキシン類	
		試料採取日	(mg/L)	試料採取日	(pg-TEQ/L)
2 年 度	洞海湾(D2)	6/2	不検出 ^{※1}	6/2	0.065
		8/3	不検出 ^{※1}	10/28	0.072
	響灘(H1)	6/2	不検出 ^{※1}	6/2	0.050
		8/3	不検出 ^{※1}	10/28	0.061
	雨水洞海湾出口沖	6/2	不検出 ^{※1}	6/2	0.087
3 年 度	洞海湾(D2)	6/1	不検出 ^{※1}	6/1	0.053
		8/30	不検出 ^{※1}	10/29	0.081
	響灘(H1)	6/1	不検出 ^{※1}	6/1	0.024
		8/30	不検出 ^{※1}	10/29	0.036
	雨水洞海湾出口沖	6/1	不検出 ^{※1}	6/1	0.029
4 年 度	洞海湾(D2)	7/4	不検出 ^{※1}	7/4	0.075
		8/2	不検出 ^{※1}	9/30	分析中(11月初旬判明予定)
	響灘(H1)	7/4	不検出 ^{※1}	7/4	0.069
		8/2	不検出 ^{※1}	9/30	分析中(11月初旬判明予定)
	雨水洞海湾出口沖	7/4	不検出 ^{※1}	7/4	0.071
環境基準		検出されないこと		1以下	

※1 定量下限値は0.0005mg/L

3. 土 壌

- ① PCB 環境基準(検出されないこと)に適合していた。
 ② ダイオキシン類 環境基準(1,000pg-TEQ/g・dry以下)に適合していた。

年度	試料採取日	PCB(溶出試験) (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/g・dry)
29年度	平成29年9月22日	不検出 ^{※1}	0.031
30年度	平成30年6月12日	不検出 ^{※1}	0.028
元年度	令和元年5月21日	不検出 ^{※1}	0.32
2年度	令和2年6月8日	不検出 ^{※1}	0.96
3年度	令和3年5月31日	不検出 ^{※1}	1.3
4年度	令和4年8月29日	不検出 ^{※1}	2.0
環境基準		検出されないこと	1000以下

※1 定量下限値は0.0005mg/L

4. 底 質

- ① PCB 溶出試験の結果は不検出であった。なお、環境基準は設定されていない。
成分試験の結果は、基準(10mg/kg・dry未満)に適合していた。
- ② ダイオキシン類 環境基準(150pg-TEQ/g・dry以下)に適合していた。

年度	PCB			ダイオキシン類	
	試料採取日	溶出試験 (mg/L)	成分試験 (mg/kg・dry)	試料採取日	(pg-TEQ/g・dry)
29年度	平成29年8月23日	不検出 ^{※1}	0.01	平成29年11月21日	13
30年度	平成30年8月7日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	平成30年10月10日	15
元年度	令和元年8月22日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	令和元年9月10日	13
2年度	令和2年8月3日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	令和2年10月28日	14
3年度	令和3年8月23日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	令和3年10月29日	13
4年度	令和4年8月2日	不検出 ^{※1}	不検出 ^{※2}	令和4年9月30日	分析中(11月初旬判明予定)
環境基準等		10未満 ^{※3}		150以下	

※1 定量下限値は0.0005mg/L

※2 定量下限値は0.01mg/kg・dry

※3 「底質の暫定除去基準(S50.10.28、環境庁水質保全局長通知)」で定める暫定除去基準値
(10mg/kg・dry以上)に該当しないもの

<排出源>

1. 排 気

- | | |
|-----------|--|
| ① PCB | 協定値(0.005mg/Nm ³ 以下) ^{※1} に適合していた。 |
| ② ダイオキシン類 | 協定値(0.08ng-TEQ/Nm ³ 以下) ^{※1} に適合していた。 |
| ③ ベンゼン | 協定値(45mg/Nm ³) ^{※1} に適合していた。 |
| ④ 硫黄酸化物 | 協定値(K値=0.5以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑤ 窒素酸化物 | 協定値(150ppm以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑥ 塩化水素 | 協定値(100ppm以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑦ ばいじん | 協定値(0.01g/Nm ³ 以下:1時間平均) ^{※1} に適合していた。 |
| ⑧ 水銀 | 協定値(50μg/Nm ³) ^{※1} に適合していた。 |

※1 協定値(「北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る環境保全に関する協定書」の排出管理目標値)

1期施設(1G6、1G7)

第1期施設は平成31年3月末に操業を終了しているが、現在解体撤去作業を行っているため、解体撤去に伴う環境モニタリングを実施している。

モニタリングの場所は、稼働中の換気設備(1G6)及び令和4年9月に稼働停止した分析設備(1G7)の2箇所である。

換気(1G6)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月18日	0.0000068	0.000064	不検出 ^{※2}
	平成30年10月15日	0.0000010	0.000054	0.096
元 年度	令和元年5月17日	不検出 ^{※1}	0.0000031	不検出 ^{※3}
	令和元年11月29日	不検出 ^{※1}	0.0000017	不検出 ^{※4}
2 年度	令和2年6月8日	不検出 ^{※1}	0.0000074	不検出 ^{※5}
	令和2年12月10日	不検出 ^{※1}	0.0000032	不検出 ^{※6}
3 年度	令和3年5月28日	不検出 ^{※1}	0.0000038	不検出 ^{※7}
	令和3年12月27日	不検出 ^{※1}	0.0000028	不検出 ^{※8}
4 年度	令和4年8月23日	不検出 ^{※1}	0.0000028	不検出 ^{※9}
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.98mg/Nm³

※4 定量下限値は0.27mg/Nm³

※5 定量下限値は0.32mg/Nm³

※6 定量下限値は0.52mg/Nm³

※7 定量下限値は0.31mg/Nm³

※8 定量下限値は0.14mg/Nm³

※9 定量下限値は0.18mg/Nm³

分析室排気(1G7)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月25日	不検出※1	0.00000021	不検出※2
元 年度	令和元年5月14日	不検出※1	0	不検出※3
2 年度	令和2年6月9日	不検出※1	0.0000034	不検出※4
3 年度	令和3年5月20日	不検出※1	0.0000018	不検出※5
4 年度	令和4年7月25日	不検出※1	0.00000086	不検出※6
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.98mg/Nm³

※4 定量下限値は0.32mg/Nm³

※5 定量下限値は0.31mg/Nm³

※6 定量下限値は0.18mg/Nm³

2期施設(2G1、2G3～9)

第2期施設におけるVTR処理対象の小型電気機器が無くなったので、中間処理設備は令和4年3月に操業を終了している。

稼働を停止している中間処理排気(2G2)はモニタリングを行っていない。

特殊解体室排気(2G1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月9日	不検出※1	0.00000066	不検出※2
	平成31年1月16日	不検出※1	0.00000087	不検出※3
元 年度	令和元年5月13日	不検出※1	0.00000024	不検出※4
	令和元年10月25日	不検出※1	0.00000057	不検出※5
2 年度	令和2年6月18日	不検出※1	0.0000044	不検出※6
	令和2年10月27日	不検出※1	0.0000035	不検出※7
3 年度	令和3年5月24日	不検出※1	0.0000020	不検出※8
	令和3年12月16日	不検出※1	0.0000023	不検出※9
4 年度	令和4年7月15日	不検出※1	0.0000012	不検出※10
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.38mg/Nm³

※4 定量下限値は0.98mg/Nm³

※5 定量下限値は0.27mg/Nm³

※6 定量下限値は0.34mg/Nm³

※7 定量下限値は0.52mg/Nm³

※8 定量下限値は0.31mg/Nm³

※9 定量下限値は0.14mg/Nm³

※10 定量下限値は0.23mg/Nm³

真空加熱分離排気(2G3)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月10日	不検出※1	0.00000021	不検出※2
	平成31年1月11日	不検出※1	0.00000018	不検出※3
元 年度	令和元年5月30日	不検出※1	0	不検出※4
	令和元年12月11日	不検出※1	0	不検出※5
2 年度	令和2年6月10日	不検出※1	0.000018	不検出※6
	令和2年12月23日	不検出※1	0.0000035	不検出※7
3 年度	令和3年5月13日	不検出※1	0.0000014	不検出※8
	令和3年12月10日	不検出※1	0.00000081	不検出※9
4 年度	令和4年7月21日	不検出※1	0.00000066	不検出※10
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.38mg/Nm³

※4 定量下限値は0.98mg/Nm³

※5 定量下限値は0.36mg/Nm³

※6 定量下限値は0.32mg/Nm³

※7 定量下限値は0.52mg/Nm³

※8 定量下限値は0.31mg/Nm³

※9 定量下限値は0.14mg/Nm³

※10 定量下限値は0.18mg/Nm³

液処理系排気1(2G4)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月22日	不検出※1	0.0000072	不検出※2
	平成31年1月8日	不検出※1	0.0000028	不検出※3
元 年度	令和元年5月16日	不検出※1	0.0000047	不検出※4
	令和元年12月17日	不検出※1	0.0000012	不検出※5
2 年度	令和2年6月3日	不検出※1	0.000097	不検出※6
	令和2年11月19日	不検出※1	0.000013	不検出※7
3 年度	令和3年5月12日	不検出※1	0.000012	不検出※8
	令和3年10月12日	不検出※1	0.000010	不検出※9
4 年度	令和4年7月21日	不検出※1	0.000013	不検出※10
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.38mg/Nm³

※4 定量下限値は0.98mg/Nm³

※5 定量下限値は0.36mg/Nm³

※6 定量下限値は0.32mg/Nm³

※7 定量下限値は0.52mg/Nm³

※8 定量下限値は0.31mg/Nm³

※9 定量下限値は0.13mg/Nm³

※10 定量下限値は0.18mg/Nm³

液処理系排気2(2G5)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月21日	不検出※1	0.00000036	不検出※2
	平成31年1月7日	不検出※1	0.00000033	不検出※3
元 年度	令和元年5月16日	不検出※1	0	不検出※4
	令和元年10月11日	不検出※1	0	不検出※5
2 年度	令和2年6月3日	不検出※1	0.000029	不検出※6
	令和2年11月18日	不検出※1	0.0000030	不検出※7
3 年度	令和3年5月12日	不検出※1	0.0000027	不検出※8
	令和3年10月12日	不検出※1	0.0000012	不検出※9
4 年度	令和4年7月21日	不検出※1	0.00000091	不検出※10
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.38mg/Nm³

※4 定量下限値は0.98mg/Nm³

※5 定量下限値は0.27mg/Nm³

※6 定量下限値は0.32mg/Nm³

※7 定量下限値は0.52mg/Nm³

※8 定量下限値は0.31mg/Nm³

※9 定量下限値は0.13mg/Nm³

※10 定量下限値は0.18mg/Nm³

プラズマ排気(2G7-1)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	硫黄酸化物 K値	窒素酸化物 ppm	塩化水素 ppm	ばいじん g/Nm ³	水銀 (μg/Nm ³)
30 年度	平成30年6月18日	不検出※1	0.00022	不検出※3	49	3	不検出※4	4.7
	平成30年10月16日	不検出※1	0.0000029	不検出※3	51	3	不検出※5	3.0
元 年度	令和元年6月7日	不検出※1	0	0.004	57	13	不検出※6	3.5
	令和元年12月20日	不検出※1	0.00000027	不検出※3	57	10	不検出※7	12
2 年度	令和2年6月30日	不検出※1	0.0000074	不検出※3	60	不検出※8	不検出※9	0.56
	令和2年10月19日	不検出※1	0.00038	不検出※3	52	2	不検出※10	4.8
3 年度	令和3年6月7日	不検出※1	0.0022	不検出※3	58	2	不検出※11	1.3
	令和3年10月6日	不検出※1	0.0014	0.0018	52	3	不検出※11	1.4
4 年度	令和4年8月16日	不検出※2	0.00061	不検出※3	45	3	不検出※12	0.24
協定値		0.005以下	0.08以下	K値=0.5以下	150以下	100以下	0.01以下	50以下※13

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値はK値≧0.004

※3 定量下限値はK値≧0.0018

※4 定量下限値は0.0062g/Nm³

※5 定量下限値は0.0063g/Nm³

※6 定量下限値は0.0070g/Nm³

※7 定量下限値は0.0065g/Nm³

※8 定量下限値は1ppm

※9 定量下限値は0.0073g/Nm³

※10 定量下限値は0.0066g/Nm³

※11 定量下限値は0.0069g/Nm³

※12 定量下限値は0.0068g/Nm³

※13 協定値を超えた場合は、10日以内に3回の再測定を実施し、定期測定及び3回の再測定の結果のうち最大及び最小の値を除く全ての測定値の平均値を得、評価を行う。

プラズマ排気(2G7-2)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	硫黄酸化物 K値	窒素酸化物 ppm	塩化水素 ppm	ばいじん g/Nm ³	水銀 (μg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月30日	不検出※1	0.00042	不検出※2	56	4	不検出※3	0.6
	平成30年10月18日	不検出※1	0.00000039	不検出※2	63	1	不検出※4	6.7
元 年度	令和元年5月29日	不検出※1	0.0000034	不検出※2	51	2	不検出※5	6.1
	令和元年12月2日	不検出※1	0.00000024	不検出※2	52	3	不検出※5	1.8
2 年度	令和2年5月29日	不検出※1	0.00019	不検出※2	54	不検出※6	不検出※7	0.58
	令和2年12月18日	不検出※1	0.00095	不検出※2	67	不検出※6	不検出※7	1.3
3 年度	令和3年5月14日	不検出※1	0.0037	不検出※2	54	2	不検出※8	4.0
	令和3年12月2日	不検出※1	0.00027	不検出※2	56	不検出※6	不検出※9	1.3
4 年度	令和4年7月27日	不検出※1	0.00030	不検出※2	21	3	不検出※10	1.7
協定値		0.005以下	0.08以下	K値=0.5以下	150以下	100以下	0.01以下	50以下※11

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値はK値÷0.0018

※3 定量下限値は0.0059g/Nm³

※4 定量下限値は0.0065g/Nm³

※5 定量下限値は0.0060g/Nm³

※6 定量下限値は1ppm

※7 定量下限値は0.0057g/Nm³

※8 定量下限値は0.0056g/Nm³

※9 定量下限値は0.0069g/Nm³

※10 定量下限値は0.0030g/Nm³

※11 協定値を超えた場合は、10日以内に3回の再測定を実施し、定期測定及び3回の再測定の結果のうち最大及び最小の値を除く全ての測定値の平均値を得、評価を行う。

換気(2G8)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月29日	0.000016	0.000011	不検出※2
元 年度	令和元年5月13日	0.0000022	0.0000067	不検出※3
2 年度	令和2年6月18日	0.0000034	0.000015	不検出※4
3 年度	令和3年5月10日	不検出※1	0.0000050	不検出※5
4 年度	令和4年8月22日	不検出※1	0.000026	不検出※6
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.98mg/Nm³

※4 定量下限値は0.32mg/Nm³

※5 定量下限値は0.31mg/Nm³

※6 定量下限値は0.11mg/Nm³

分析室排気(2G9)

試料採取日		PCB (mg/Nm ³)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/Nm ³)	ベンゼン (mg/Nm ³)
30 年度	平成30年5月11日	不検出※1	0	不検出※2
元 年度	令和元年5月27日	不検出※1	0.00000057	不検出※3
2 年度	令和2年6月23日	不検出※1	0.0000046	不検出※4
3 年度	令和3年5月13日	不検出※1	0.0000019	不検出※5
4 年度	令和4年8月22日	不検出※1	0.00000093	不検出※6
協定値		0.005以下	0.08以下	45以下

※1 定量下限値は0.0000010mg/Nm³

※2 定量下限値は0.45mg/Nm³

※3 定量下限値は0.98mg/Nm³

※4 定量下限値は0.32mg/Nm³

※5 定量下限値は0.31mg/Nm³

※6 定量下限値は0.11mg/Nm³

2. 公共下水道排水水

① PCB

基準(0.003mg/L以下)に適合していた。

試料採取日		PCB (mg/L)
29 年度	平成29年7月26日	0.0008
	平成30年3月9日	不検出※ ¹
30 年度	平成30年7月19日	不検出※ ¹
	平成30年10月10日	不検出※ ¹
	平成31年1月10日	不検出※ ¹
元 年 度	令和元年7月25日	不検出※ ¹
	令和元年10月23日	不検出※ ¹
	令和2年1月15日	不検出※ ¹
2 年 度	令和2年7月15日	不検出※ ¹
	令和2年10月21日	不検出※ ¹
	令和3年1月14日	不検出※ ¹
3 年 度	令和3年7月28日	不検出※ ¹
	令和4年1月12日	不検出※ ¹
	令和4年2月8日	不検出※ ¹
4 年 度	令和4年7月22日	不検出※ ¹
基準等		0.003以下

※¹ 定量下限値は0.0005mg/L

3. 雨 水

① PCB

基準(0.003mg/L以下)に適合していた。

② ダイオキシン類

基準(10pg-TEQ/L以下)に適合していた。

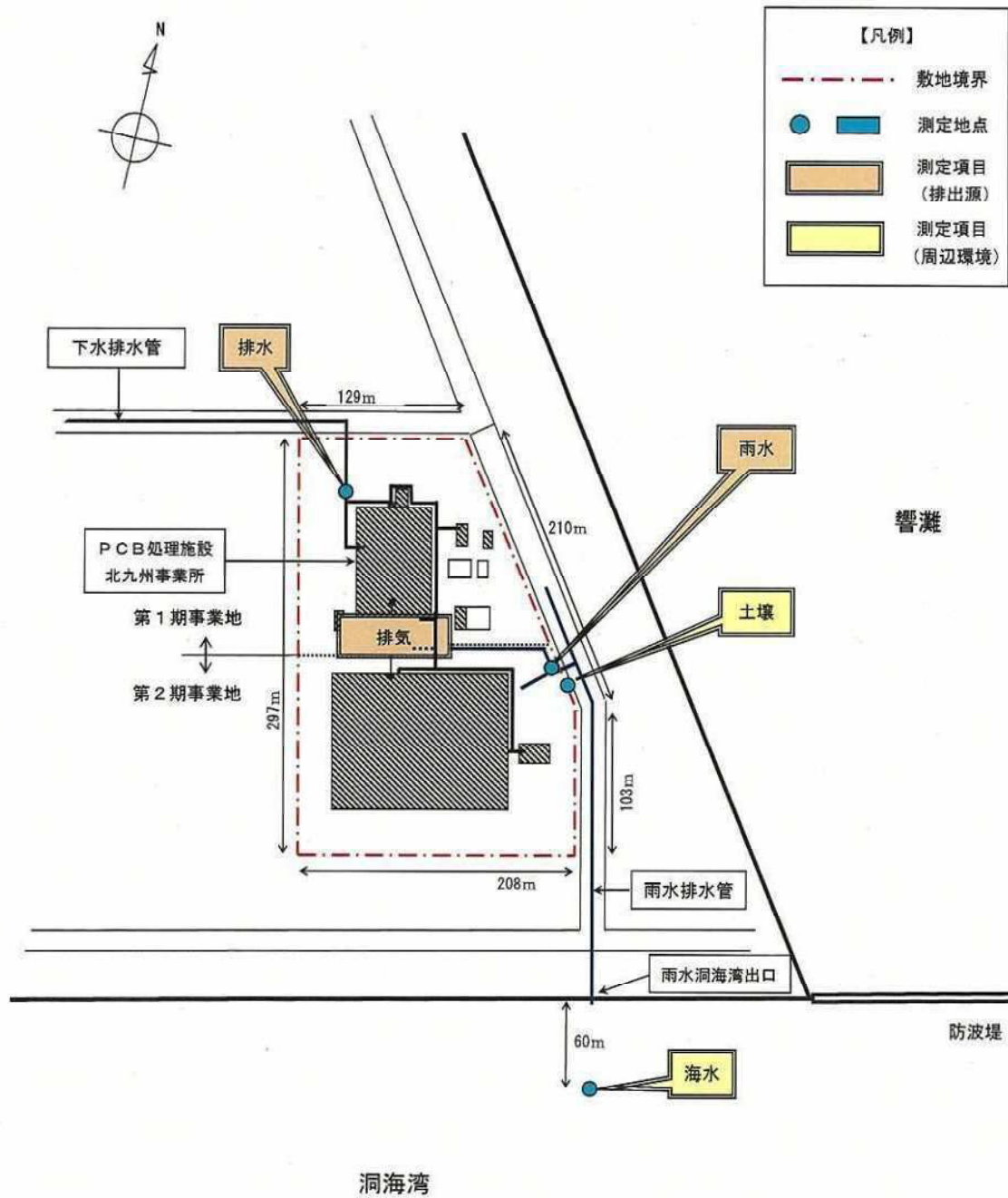
試料採取日		PCB (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
29 年度	平成29年9月7日	不検出※ ¹	0.41
30 年度	平成30年6月11日	不検出※ ¹	0.12
元 年 度	令和元年5月20日	不検出※ ¹	2.1
2 年 度	令和2年6月11日	不検出※ ¹	0.087
3 年 度	令和3年5月20日	不検出※ ¹	0.61
4 年 度	令和4年7月19日	不検出※ ¹	1.5
基準等		0.003	10

※¹ 定量下限値は0.0005mg/L

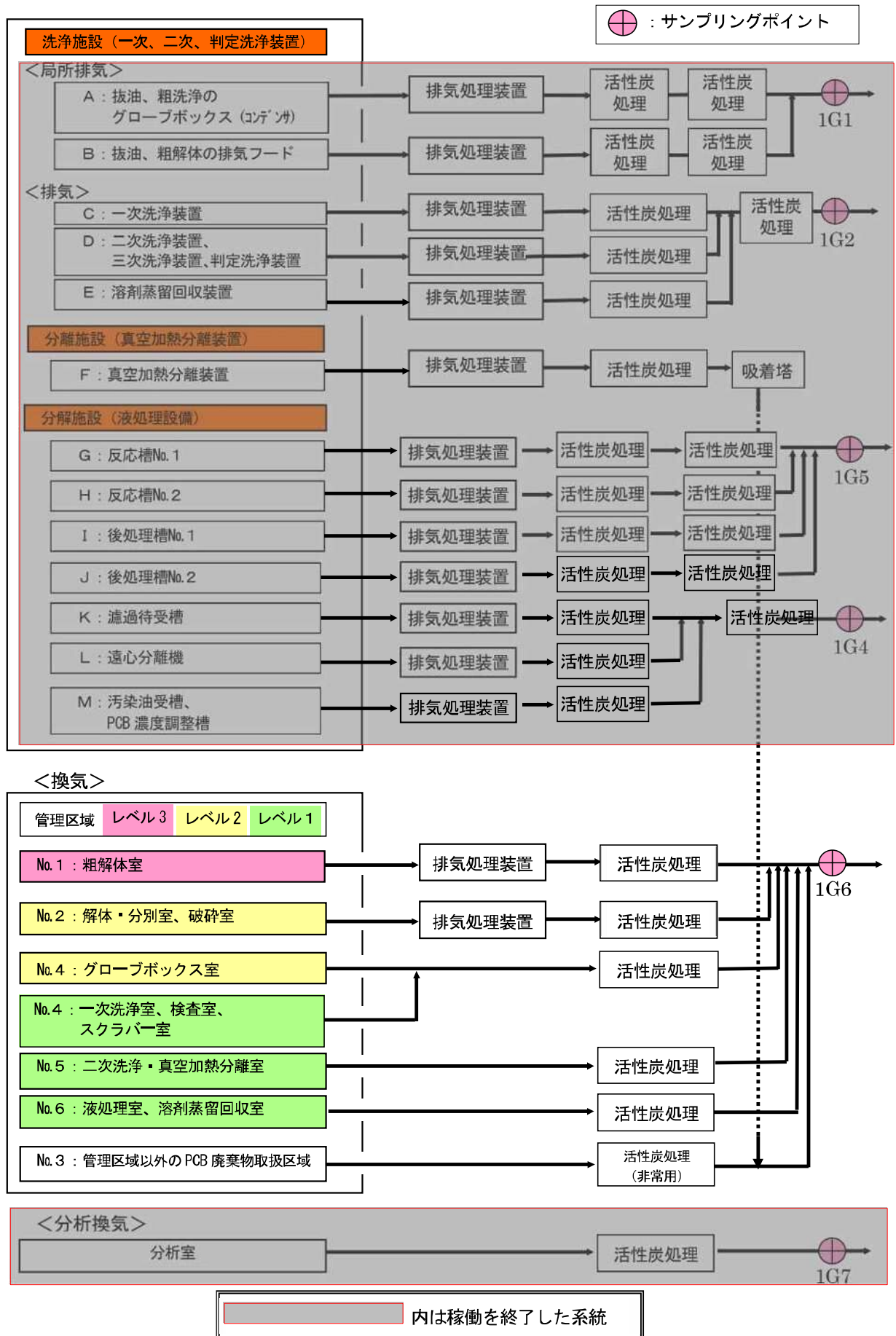
【北九州市の調査地点図】



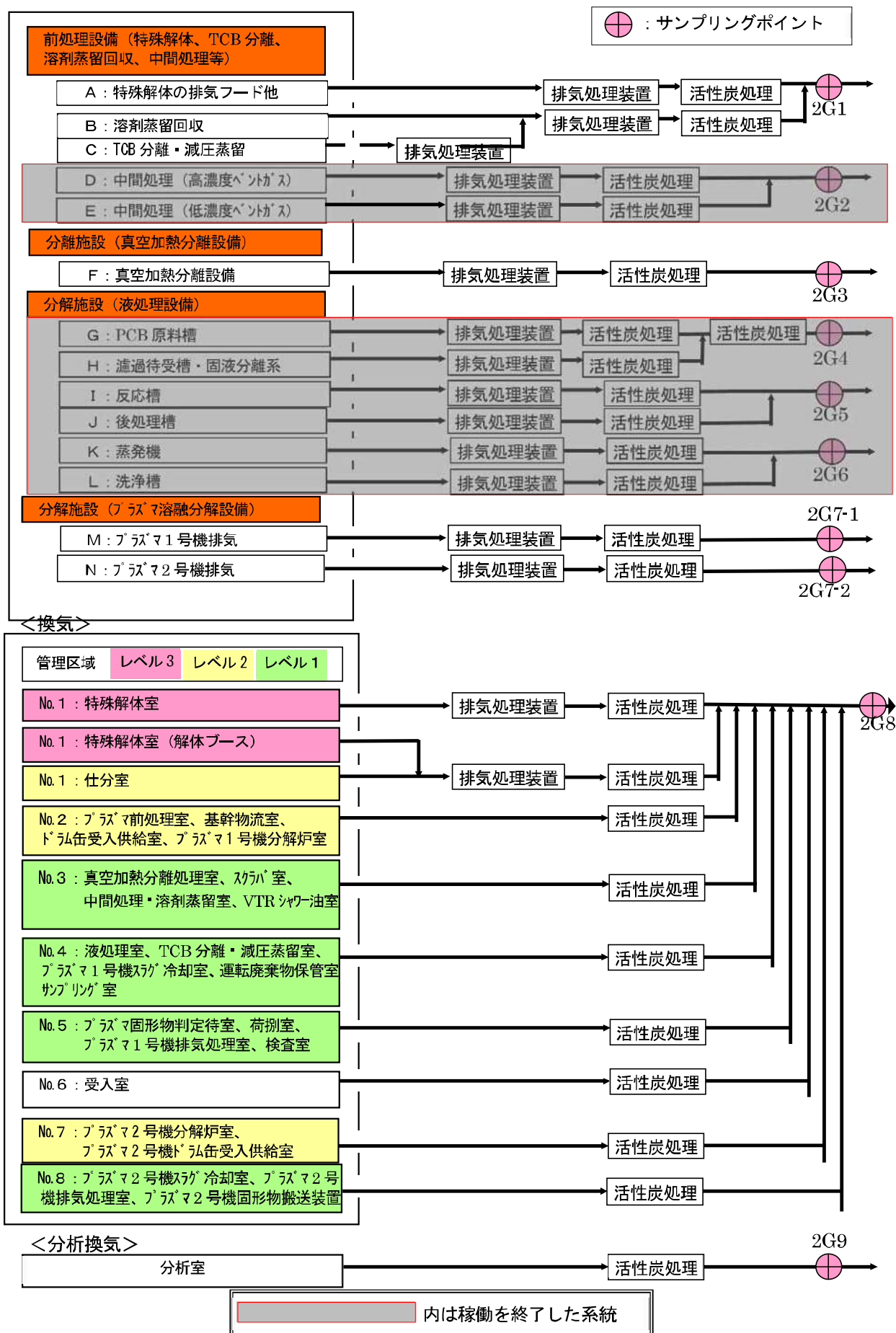
北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
環境モニタリング調査地点図



排気測定サンプリング箇所（1期施設）



排気測定サンプリング箇所（２期施設）



令和4年度PCB廃棄物処理施設及び周辺の環境モニタリング(予定)

○調査概要

区分		媒体	調査地点	調査項目	調査頻度 (回/年)	年 間 検体数
周辺環境	周辺環境	大気	若松観測局 北九州市若松区本町3-13-1 (若松市民会館屋上)	PCB	4	4
				ダイオキシン類	4	4
				ベンゼン	12	12
		海水	洞海湾(D2)、響町(H1) ※環境基準点	PCB	2	4
				ダイオキシン類	2	4
		底質	洞海湾(D2) ※環境基準点	PCB	1	1
				ダイオキシン類	1	1
	排出源直近の環境	海水	雨水洞海湾出口沖	PCB	1	1
				ダイオキシン類	1	1
		土壌	雨水敷地出口付近	PCB	1	1
				ダイオキシン類	1	1
排出源	排出源	排気	排気出口(6箇所) 換気出口(4箇所) ※換気出口は年1回	PCB	2	17
				ダイオキシン類	2	17
				ベンゼン	2	13
			排気出口のうちプラズマ 溶融分解系(2箇所)	硫黄酸化物	2	4
				窒素酸化物	2	4
				塩化水素	2	4
				ばいじん	2	4
				水銀	2	4
		下水	排水渠	PCB	3	3
		雨水	雨水ます	PCB	1	1
				ダイオキシン類	1	1